

# ＜速報版＞新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート集計結果 (岩手版)

2020年5月22日  
岩手県保険医協会

目的：新型コロナウイルス感染拡大により、非常事態宣言が発出され、不要不急の外出を自粛するよう呼びかけられた。そのような状況下で、医療機関の実情を把握し、諸課題を発信したい。

調査期間：2020年5月1日～5月13日

調査方法：FAXによる送受信

対象者：岩手県保険医協会 FAX登録開業医会員 医科会員 308名 歯科会員 324名

回収率：医科会員 31% (97件)、歯科会員 22% (70件)

## 目次一

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1、基本事項               | ② 発熱患者への対応について        |
| ① 回答者の年齢構成           | 4、医薬品や衛生用品、防護用品等の確保状況 |
| ② 医療機関の形態            | ① 医療用マスク              |
| ③ 主な標榜科              | ② 手指消毒剤               |
| ④ 診療所の土地・建物          | ③ 機材消毒剤               |
| 2、患者動向について           | ④ グローブ                |
| ① 外来患者数              | ⑤ 防護服                 |
| ② 患者からの予約の延期やキャンセル件数 | ⑥ ゴーグル                |
| ③ 電話再診の依頼件数          | ⑦ フェイスシールド            |
| ④ 保険診療収入             | ⑧ 生理食塩水               |
| ⑤ 訪問診療件数             | 5、風評被害について            |
| 3、診療状況について           | 6、その他の意見              |
| ① 休診、時間短縮診療等の対応について  |                       |

## ○ まとめ

問い合わせ先

岩手県保険医協会  
盛岡市盛岡駅前通 15-19 フコク生命ビル 8階  
TEL019-651-7341 FAX019-651-7374  
担当事務局 畠山

# 1、基本事項

## 1-①年齢

医科

20代～30代	0	0%
40代	11	11%
50代	31	32%
60代	38	39%
70代	17	18%
NA	0	0%
合計	97	

歯科

20代～30代	4	6%
40代	7	10%
50代	18	26%
60代	31	44%
70代	10	14%
NA	0	0%
合計	70	

## 1-②医療機関の形態

医科のみ

病院	2	2%
無床診療所	74	78%
有床診療所	19	20%
合計	95	
NA	2	2%

## 1-③診療科の主な標榜科

医科

内科	53	56%
精神科	1	1%
小児科	5	5%
外科	4	4%
整形外科	4	4%
皮膚科	1	1%
泌尿器科	1	1%
眼科	6	6%
耳鼻咽喉科	2	2%
その他	17	18%
合計	94	
NA	3	3%

歯科（複数回答）

歯科	68	97%
口腔外科	15	21%
小児歯科	32	46%
矯正歯科	19	27%
NA	2	3%
合計	134	70

## 1-④診療所の土地・建物

医科

自己所有	73	77%
賃貸（一戸建て）	16	17%
賃貸（テナント）	6	6%
合計	95	
NA	2	

歯科

自己所有	55	80%
賃貸（一戸建て）	7	10%
賃貸（テナント）	7	10%
合計	69	
NA	1	

## 2、患者動向等について（今年4月と前年4月との比較）

### 2-① 外来患者数について

#### 医科

変化なし	17	18%
増えた	0	0%
減った	75	82%
合計	92	
NA	5	5%

#### 医科 減少の程度

～30%	61	86%
～50%	9	13%
～70%	1	1%
70%以上	0	0%
合計	71	100%
NA	4	

#### 歯科

変化なし	21	30%
増えた	5	7%
減った	43	62%
合計	69	
NA	1	1%

#### 歯科 減少の程度

～30%	36	92%
～50%	2	5%
～70%	1	3%
70%以上	0	
合計	39	
NA	4	

#### 歯科 増加の程度

～30%	5	100%
～50%	0	
～70%	0	
70%以上	0	
合計	5	
NA		

医科では8割を超える医療機関で外来患者数が減少した。減少幅も30%までという回答が多いが、半数以上減った医療機関もある。その反面、患者数が増加したとの回答はなかった。

歯科でも、6割を超える医療機関で外来患者数が減少した。その一方、少数ではあるが増加したとの回答もある。理由として、岩手県では、4月に学校が再開されたものの、休校日になったり、課外活動が制限されたことと、親世代が、テレワークや出勤日調整等により、子どもが、普段、受診できなかった歯科を受診したためと推測される。

### 2-② 患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数

#### 医科

変化なし	52	60%
増えた	27	31%
減った	7	8%
合計	86	
NA	11	13%

#### 医科 減少の程度

～30%	6	86%
～50%	1	14%
～70%	0	0%
70%以上	0	0%
合計	7	100%

#### 医科 増加の程度

～30%	22	81%
～50%	0	0%
～70%	1	4%
70%以上	0	0%
合計	27	100%
NA	4	15%

歯科

変化なし	28	41%
増えた	38	55%
減った	3	4%
合計	69	
NA	1	1%

歯科 減少の程度

～30%	2	100%
～50%		
～70%		
70%以上		
合計	2	
NA	1	

歯科 増加の程度

～30%	26	92%
～50%	1	4%
～70%	1	4%
70%以上		
合計		
NA	10	

予約の延期やキャンセルについては、予約診療が主である歯科において増加している。メンテナンスの予約が全てキャンセルとなり、歯科衛生士が仕事ができないとの回答もあった。

2-③ 電話再診依頼件数

医科

変化なし	45	50%
増えた	44	49%
減った	1	1%
合計	90	
NA	7	8%

医科 増加の程度

～30%	33	75%
～50%	1	2%
～70%	0	0%
70%以上	0	0%
合計	44	100%
NA	10	23%
合計	44	100%

※ 減少の程度の回答なし

歯科

変化なし	52	78%
増えた	3	4%
減った	12	18%
合計	67	
NA	3	4%
合計	67	

歯科 減少の程度

～30%	7	70%
～50%	2	20%
～70%	1	10%
70%以上		
合計		
NA	2	
合計		

歯科 増加の程度

～30%	2	100%
～50%		
～70%		
70%以上		
合計	2	
NA	1	

患者と直接接しない、または待合室等での感染を危惧して、電話による再診件数が増加したことも明らかとなった。医科では、半数の医療機関で増加している。

2-④ 保険診療収入について

医科

変化なし	15	16%
増えた	1	1%
減った	76	83%
合計	92	
NA	5	

医科 減少の程度

～30%	58	88%
～50%	5	8%
～70%	3	5%
70%以上	0	0%
合計	66	87%
NA	10	13%

※ 増加の程度の回答なし

歯科

変化なし	21	30%
増えた	8	12%
減った	40	58%
合計	69	
NA	1	

歯科 減少の程度

～30%	32	94%
～50%	2	6%
～70%		
70%以上		
合計		
NA	6	

歯科 増加の程度

～30%	3	100%
～50%		
～70%		
70%以上		
合計		
NA	5	

保険診療収入については、感染者がいない岩手県の医療機関においても、減少したとの回答が、医科 83%、歯科が 58%となり、減少が目立つ結果となった。中でも、医科では 50%以上収入が減少したと回答したものが 5%あり、新型コロナウイルスによる患者数の減少傾向が長期的になった場合、医院経営が困難になる。

2-⑤ 訪問診療件数

医科

変化なし	56	89%
増えた	1	2%
減った	6	10%
合計	63	
NA	34	

医科 減少の程度

～30%	3	75%
～50%	1	25%
～70%	0	0%
70%以上	0	0%
合計	4	
NA	2	3%

※ 増加の程度の回答なし

歯科

変化なし	29	63%
増えた	1	2%
減った	16	35%
合計	46	
NA	24	

歯科 減少の程度

～30%	7	50%
～50%	2	14%
～70%	0	
70%以上	5	36%
合計		
NA	2	

※ 増加の程度の回答なし

介護施設等が、対外接触を制限する措置をとったことにより、訪問診療数が減ったとの回答があった。

## 2-⑥ その他

医科では、新規または軽症の患者数が激減しているとの声が寄せられている。その他にも、患者からの薬の長期処方求められるとの声も多い。また、3月の方が患者数の減少が顕著だったとの回答もあった。

歯科では、患者が、定期健診やメンテナンスを控えている傾向があるとの声が多い。無断キャンセルなども増加しているとの回答もあった。

医科歯科共通して、感染対策して診療しているが、外出自粛等が長期化した場合、軽症者の重症化や、衛生用品の高騰等により、経営が成り立たないのではないかと不安の声が寄せられている。

## 3、診療状況について

### 3-① 休診、時間短縮診療等の対応について

医科

通常通り診療	91	95%
診療日数・時間を減らしている	5	5%
休診している	0	0%
休診を予定	0	0%
閉院を検討	0	0%
合計	96	
NA	1	

歯科

通常通り診療	54	81%
診療日数・時間を減らしている	13	19%
休診している	0	0%
休診を予定	0	0%
閉院を検討	0	0%
合計	67	
NA	3	

感染者がいない岩手県では、医科歯科とも休診しているという回答はなかった。診療日数・時間を減らしているとの回答理由としては、患者数減少の他、緊急事態宣言が発出されたことや感染機会を減少するためにとられた措置であるとの回答であった。

### 3-② 発熱患者への対応について

医科のみ（複数回答）

来院自粛をお願い	29	30%
特別な発熱外来を設置	2	2%
動線を分離	26	27%
別室で診療	41	42%
診療時間を変更	4	4%
院外で対応	40	41%
その他	11	11%
NA	0	0%
合計	153	97

発熱患者への対応については、感染者が判明していない岩手県の医療機関においても、待合室等での密室状態による感染拡大を防ぐために、様々な措置がとられていることが判明した。

#### 4、医薬品や衛生用品、防護用品等の現時点での確保状況

(発注中で未達のもの含まず)

##### 4-① 医療用マスク

医科

充足	35	36%
在庫1カ月以内	47	49%
在庫半月以内	9	9%
在庫1週間以内	4	4%
既に在庫なし	1	1%
合計	96	100%
NA	1	

歯科

充足	37	54%
在庫1カ月以内	25	37%
在庫半月以内	5	7%
在庫1週間以内	0	0%
既に在庫なし	1	1%
合計	68	100%
NA	2	

医療用マスクについては、医科では60%を超える医療機関、歯科では約50%の医療機関において、在庫が1ヶ月以内になくるとの回答であった。既に在庫がないとの回答した医療機関もあった。

##### 4-② 手指消毒剤

医科

充足	36	38%
在庫1カ月以内	45	47%
在庫半月以内	12	13%
在庫1週間以内	3	3%
既に在庫なし	0	0%
合計	96	100%
NA	1	

歯科

充足	34	51%
在庫1カ月以内	26	38%
在庫半月以内	6	9%
在庫1週間以内	0	0%
既に在庫なし	1	1%
合計	67	100%
NA	3	

手指消毒剤についても、マスク同様、医科では60%を超える医療機関、歯科では約50%の医療機関において、在庫が1ヶ月以内になくるとの回答であった。歯科では、既に在庫がないと回答した医療機関があった。

##### 4-③ 機材消毒剤

医科

充足	45	47%
在庫1カ月以内	39	41%
在庫半月以内	8	8%
在庫1週間以内	0	0%
既に在庫なし	3	3%
合計	95	100%
NA	2	

歯科

充足	39	57%
在庫1カ月以内	24	35%
在庫半月以内	5	7%
在庫1週間以内	0	0%
既に在庫なし	0	0%
合計	68	100%
NA	2	

機材消毒剤については、医科歯科とも、約50%の医療機関において、在庫が1ヶ月以内という回答であった。

4-④グローブ

医科

充足	36	40%
在庫1カ月以内	39	43%
在庫半月以内	7	8%
在庫1週間以内	6	7%
既に在庫なし	3	3%
合計	91	100%
NA	6	7%

歯科

充足	33	49%
在庫1カ月以内	30	44%
在庫半月以内	5	7%
在庫1週間以内	0	0%
既に在庫なし	0	0%
合計	68	100%
NA	2	3%

医療用グローブについては、医科では60%、歯科では51%が在庫が1ヶ月以内という回答となっている。医科では在庫がないという回答もあった。

4-⑤ 防護服

医科

充足	11	12%
在庫1カ月以内	21	23%
在庫半月以内	9	10%
在庫1週間以内	9	10%
既に在庫なし	40	44%
合計	90	100%
NA	7	

歯科

充足	8	14%
在庫1カ月以内	6	11%
在庫半月以内	2	4%
在庫1週間以内	4	7%
既に在庫なし	37	65%
合計	57	100%
NA	13	

防護服については、医科では44%、歯科では65%の医療機関において、既に在庫がないという状況になっている。

4-⑥ ゴーグル

医科

充足	16	18%
在庫1カ月以内	11	12%
在庫半月以内	8	9%
在庫1週間以内	7	8%
既に在庫なし	48	53%
合計	90	100%
NA	7	

歯科

充足	30	48%
在庫1カ月以内	7	11%
在庫半月以内	3	5%
在庫1週間以内	2	3%
既に在庫なし	21	33%
合計	63	100%
NA	7	

ゴーグルについても、医科では53%、歯科では33%の医療機関で在庫がないとの回答である。特に医科の在庫が厳しい状況となっている。



#### 4-⑦ フェイスシールド

医科

充足	13	14%
在庫1カ月以内	14	15%
在庫半月以内	11	12%
在庫1週間以内	14	15%
既に在庫なし	39	43%
合計	91	100%
NA	6	

歯科

充足	22	34%
在庫1カ月以内	11	17%
在庫半月以内	2	3%
在庫1週間以内	4	6%
既に在庫なし	25	39%
合計	64	100%
NA	6	

フェイスシールドについては、医科で43%、歯科で39%の医療機関で在庫がないとの回答であった。代用品を作成して対応しているとの回答もある。

#### 4-⑧ 生理食塩水、精製水

医科

充足	50	56%
在庫1カ月以内	20	22%
在庫半月以内	8	9%
在庫1週間以内	4	4%
既に在庫なし	8	9%
合計	90	100%
NA	7	

歯科

充足	36	54%
在庫1カ月以内	20	30%
在庫半月以内	5	7%
在庫1週間以内	2	3%
既に在庫なし	4	6%
合計	67	100%
NA	3	

生理食塩水、精製水については、医科では44%、歯科では46%が在庫が1ヶ月以内になくなる、既に在庫がないとの回答であった。

#### 4-⑨ その他

上記以外のものとして、医科では個包の消毒用アルコール綿、ガーゼ、洗剤（ハンドソープ）等が不足しているとの回答が多く、歯科では、診療用のエプロン等の紙製品が不足しているとの回答が多かった。

感染予防のための衛生用品については、全国的に不足していると報道されているマスクや消毒剤をはじめ、全般的に不足していることが明らかとなっている。いずれも、医療機関には必需品のため、安定供給を望む声が多い。また、新型コロナウイルス感染前と比較して、衛生用品・防護用品の価格が数倍になっており、十分な在庫を抱えることができないとの声もあった。

## 5、風評被害について

### 5-①いわゆる「風評被害」があったかどうか

医科

ない	89	96%
ある	4	4%
合計	93	
NA	4	4%

歯科

ない	55	86%
ある	9	14%
合計	64	
NA	6	9%

感染者が判明していない岩手県においても、風評被害があったとの回答があった。また、患者から、テレビ、インターネット等での不確かな情報による質問が多数寄せられ、困惑しているとの回答も複数寄せられている。報道で、歯科は感染リスクが高いと言われたことの影響もあった。

## 6、その他の意見

医科会員からは、PCR検査がすぐに受けられるような体制を望む声が多かった。盛岡市以外の市町村の医療機関からは、内陸と県境では住民の流入も違うため、県単位ではなく、地区ごとの対応やタイムロスを防ぐために盛岡以外でのPCR検査を訴えている。また、発熱した患者が、保健所に連絡したところ、対応してもらえず、やむを得ず受診しに来たという事例もあり、早急な初期対応の体制強化を必要としている。

歯科会員からは、衛生用品、防護用品の安定供給を望む声が多い。また、これらは数ヶ月前から価格が数倍となっているため、コスト増に対する支援を望んでいる。

また、新型コロナウイルスの感染対策は、患者数や保険診療が減少している中、各医療機関の自己負担によって、それぞれ実施している。医療機関向けの助成金や給付金、優遇税制制度の創設を望む声も多かった。

### ○まとめ

岩手県では新型コロナウイルス感染者が確認されていないものの、県内の医療機関は、各自、院内感染対策に努めています。診療行為は感染リスクの万全回避が前提でありながら、衛生用品、防護用品の在庫に不安を抱えながら、医療機関は診療を続けていることが明らかとなりました。これまでに、当会では、達増岩手県知事宛に計2回の緊急要請を行い、医療機関への衛生用品等の安定供給への対応を求め、国や県選出国議員に対しても、「持続化給付金」とは別の、地域医療を担う医科歯科診療所、病院に対しての補償や、PCR検査センター設置への国の財政援助等を要請してきました。首都圏を中心として多くの感染者が広がっている中で、県内で未だに感染者が確認されていないことは、人口密度が低いなどという幸運さに加え、県民の衛生管理意識の高さと医療従事者の感染予防に対する努力によるものも大きいと考えます。

医療機関は、診療報酬という公定価格制度と国民皆保険制度によって、医療の公共性・公益性が担保がされ、それによって地域住民の命と健康が守られています。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染リスクを回避するために、国民のいつでもどこでも医療を受ける権利が侵害され、岩手県においても、深刻な受診抑制が引き起こされていることが判明しています。

医療という性格上完璧な感染予防対策を求められながら、深刻な受診抑制と衛生用品等の価格高騰という事態は、医療機関の経営基盤に大きく影響します。この状況に対応せず、第二波、第三波とコロナ感染が発生して、再び自粛が長期化した場合、多くの医療機関が経営困難に陥り、閉院や休業、スタッフの解雇など、地域医療や地域経済に深刻な影響を与え、地域医療崩壊が必至となります。

当会としては、医療提供体制を堅持し、地域医療を守るために、以下の施策の実現を、国・自治体に求めていきたいと思っております。

- ・医療機関向けの持続的な給付金、補助金制度を早急に創設し、公費を投入して地域医療を守ること
- ・すべての医療機関に対し、十分な量のマスク、消毒剤、防護用品を、国の責任で早急に供給すること
- ・衛生用品、防護用品の価格高騰に対応した施策を講じること

以上